



『わたしの おっぱい 元気かな～?』 ～ No.1 ～

発行 H27. 6

みつき乳児保育園

園長 あだち

第1回目の「おしゃべりカフェ」・・・
自分のおっぱいのこと・・・少し気にして欲しいな・・・という思いで開催しました。

日々、家事と育児と仕事と・・・と忙しいお母さんたちに、ホッと♥できる時間にもなるといいな～と、流す音楽♪、お茶ごとの器にも拘ってみましたよ(笑)

当日はお母さん、お婆ちゃん方にお出かけいただき和やかな中ですすめることができました。ありがとう ございました。

今、私(あだち)がこうしてみなさんと語り合うことができるのは、わたしのおっぱいの中の癌を見つけてくれた「ひと」のおかげです。

乳がんは小さいうちに見つけると、治る可能性の高い病気です。早く見つけ、適切な治療を受ければ90%以上は治るのです。

子どもたちのためにも 元気なおっぱいであるために・・・

「お母ちゃんが元気でないと、子どもたちは元気でいられないのよ♥」

定期的な自己チェックを・・・

そして乳がんの検診を・・・しましょうね。

会の流れが良かったです。

今までマンモをうけようという気持ちはあったけれど実行できなくて...話を聞いて決意ができました。

全部良かったです。カフェスタイルで雰囲気良かったです。

園長先生が辛いと思うけど、とても明るくおしゃべりされていて感動しました。

想像を超えるちゃんとした会でした。

普段考えないことだけど、今回参加したことをきっかけに早速家に帰ってからセルフチェックをしました。中島先生も話しやすい先生で良かったです。相談に行ってみようかな?という気持ちになりました。懇談会みたいな感じのお話会なのかな?と思っていましたが、素敵な雰囲気良かったです。

とても参考になりました。今までテレビでセルフチェック方法を見てやったことはありましたが、「よくわからない」で終わっていました。今回教えていただいて、「見つかったら嫌だな」っていう気持ちもあって、躊躇してしまうけど、行かないといけないなあと思いました。

婦人科系は女医さんがいいかな～と思って病院も選んでいました。今回、実際に中島先生にちょっと不安に思っていることを相談してみることができました。話を伺う限りでは心配ないでしょう。もし心配が続くようであれば検診に来て下さい。と言っていただきました。何かほっとしました。毎年、市から検診のハガキが届きますが、マンモはまだ対象でないで料金が高いし、若い年齢設定をしてほしいな～というのが希望です。

とっても楽しかったです。お婆ちゃん世代とお母さん世代の人が一緒に参加できるかたちがとても良かったと思います。同じテーブルに座った同士でいろいろお話もできてよかったです。

いろいろな話を聴くことができ、園長先生の思いも聴くことができました。実際に自分の身近に乳がんを患った人もいて、授乳中に気づいていたのに・・・後回しにしていて・・・亡くなりました。そんなこともあって関心が高かった時に、園長先生に声をかけていただいて・・・良いタイミングでした。初期の子宮がんが見つかった知り合いもいて・・・「検診に行かないといけないなあ」と実感しています。お母さんたちのお喋りも楽しく、いい時間を過ごさせてもらいました。

30代なので子宮がん検診は関心があったけど、乳がんについては未知の世界でした。今回初めて色々なことを知ることができました。テレビ報道等を見ていても、若い人の乳がんは...死...というケースも多いような気がして...無料検診になる前に一回受けておこうかなと思ったりしました。



医師の中島先生

授乳期は癌の進行が早いということ...知らなかった情報が得られて良かったです。園長先生が「子どものことだと予約をとったりするのに、自分のことは後回しですよな?」と言われて確かにそうだな～、もっと自分の体のことを気にかけないといけないな～と思いました。

以前乳がんのセルフチェックのイベントに参加したことがあるのですが、時間が経つと意識から抜けてしまっていて...今回参加させてもらって再確認できました。園長先生が辛いだろうに自分の体験話をされて、みんなに検診の大切さを伝えようという気持ちが伝わりました。大事なことだなと思いました。チラシを見た時、暗くなるイメージもっていましたが、明るくて楽しい会で参加して良かったです。早く見つかったから、今こうしていられるという事を伝えることで検診につなげていけると思います。今回参加した人たちが、身近な人たちに「聞いた話だけど、早く見つければ大丈夫みたいだよ」と教えてあげること

園長先生のお話が楽しかったです。

園長先生が自身の胸を保護者に「さわってみて」と言われた時、とても驚きました。そして、先生の強さをとても感じました。ここに至るまでには、大変苦しい思いをされたこと、そして覚悟。すごいな～。私だったらどうかな...考えさせられました。もっともっと検診の大切さが多くの人に伝わると良いと思います。もし、私が癌になったら...子どもはどうする?仕事は?私の両親はどうか?働き盛りで多くのもの(責任)を背負っている世代だからこそ、自分の体を大切に、そして、検診を受けていただきたい。と思いながら仕事をしています。

全体の雰囲気ですごく良かったです。いつもシャージの先生たちがシャージでない!っていうことで、ふ～っと気持ちが落ち着きました。音楽も流れて、器も素敵で...そんな中で身近にこんな体験をした人がいるというお話...良かったです。園長の「子どもたちのために お母ちゃんが元気でないといけないのよ」という訴えがよかったです。



「私の おっぱいはね...」



おいしいお茶やお菓子をいただきました。

第2回目の会が10月3日(土)に決定しました。午前中開催です。今回ご都合で参加できなかった方、「あらっ、ちょっと行ってみようかしら・・・」と心が動いた方・・・どうぞお出かけくださいね。

中島先生のお人柄が良かったです。安心できる先生だなあ～と感じました。「検体のしこりは実際のところどのくらい進んでいるものなんですか?」と質問してもらいました。「触ってこの位とかなり進行している状況なんです。ほんの初期の段階では触ってもわからないかも。だから検診を受けることが大事なんですよ」と答えてくださいました。

とても貴重な時間でした。講義も聴けて、体験も出来て、お茶もあり、お土産もありなんて...園長先生の話を聴いて、泣きそうでした...ありがとうございました。

乳がん検診は、受けたいなという気持ちもあったのですが、まだ年齢ではないかな?という思いもあって受けたことがありません。今回話を聞いて、やっぱり受けておかないといけないなあ実感しました。自分でチェックをしようとはするものの、よくわからなくて...今回実際に検体を触ることが出来て参考になりました。

同じテーブルの人と話をしていて、検診の料金とか具体的な内容のことが話題になりました。自分は医療関係者なので、資料等の用意が必要であれば協力します。



保健師の青木さん



あーしこりってこんな感じなんだね



実際に触って、このくらいしこりだよ